

売上

（第2四半期）

■売上高：40.9億円（前年同期比3.3%増）

- ・主軸商品“Wish upon a star”の売上が好調に推移し、全体売上の底上げに貢献
- ・ブライダル商品が前年同期比18.3%増と堅調に推移し、販売単価の向上に寄与
- ・7店舗の増加に加え、百貨店内店舗の増床実現により売上増加を後押し

利益

（第2四半期）

■売上総利益：26.1億円（前年同期比8.8%増）

- ・高付加価値の“Wish upon a star”の売上構成比が14.8%となり、粗利率が3.3ポイントUP
- ・ベトナム子会社製品の売上構成比は35.7%まで上昇し、商品原価率の低減に寄与

■営業利益：1.1億円（前年同期比50.5%増）

- ・ブランド投資に加え、店舗増に伴う費用や教育育成費用の影響により
販管費が増加したものの、売上総利益が大幅に増加したため増益を確保

14／8月期
通期予想

■売上高：81.5億円（前年同期比3.2%増）

■営業利益：1.7億円（前年同期比30.2%増）

- ・消費税増税の影響は懸念されるも、重点施策を着実に実行し、通期予想の達成を目指す

1. 連結業績(経営成績)

業界内の競争が益々激化する中、成長を見据えたグループ戦略の推進により、費用は増加したものの、売上・利益面ともに前年同期を上回り進捗

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	2013/2Q (累計)	売上 構成比	2014/2Q (累計)	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	3,962	100.0%	4,091	100.0%	3.3%	129
売上総利益	2,398	60.5%	2,610	63.8%	8.8%	212
販売費及び 一般管理費	2,322	58.6%	2,496	61.0%	7.5%	173
営業利益	75	1.9%	113	2.8%	50.5%	38
経常利益	67	1.7%	97	2.4%	44.5%	30
四半期 純利益	13	0.3%	41	1.0%	195.9%	27

売上高は、“Wish upon a star”シリーズを基軸とした商販宣一体の取り組みが奏功し、前年同期比3.3%の増加。

売上総利益は、高付加価値商品の販売強化に加え、ベトナム子会社の有効活用で商品原価率の低減が実現したため前年同期比8.8%増。

営業利益は、販管費が増加したものの、売上総利益の大幅増に加え、台湾子会社の収益改善が寄与し、前年同期比50.5%の増加。

2. 連結業績(財政状態)

「現金及び預金」は減少も、「商品及び製品」や「原材料」が増加したため、
中間期での総資産は前期比362百万円の増加

(単位:百万円)

		2012/4Q	2013/4Q	2014/2Q	前期比 増減額
資産	流動資産	4,786	4,611	4,953	342
	固定資産	1,074	1,139	1,160	21
	繰延資産	9	7	6	△1
	合計	5,870	5,758	6,120	362
負債	流動負債	3,475	3,335	3,538	202
	固定負債	1,009	998	1,123	125
	合計	4,485	4,334	4,662	328
純資産	株主資本	1,439	1,437	1,455	18
	その他	△55	△13	2	15
	合計	1,385	1,423	1,458	34
負債純資産合計		5,870	5,758	6,120	362

「現金及び預金」が103百万円減少した一方、駆け込み需要獲得に向けた対応や受注生産商品の増加に伴う一時在庫の拡大等により「商品及び製品」が329百万円増加、「原材料」が69百万円増加したことが要因。

商品強化策を中心とした柔軟かつ機動的な事業運営の推進により「短期借入金」が200百万円増加したことが要因。

経営の安定性確保を目的として「長期借入金」が167百万円増加したことが要因。

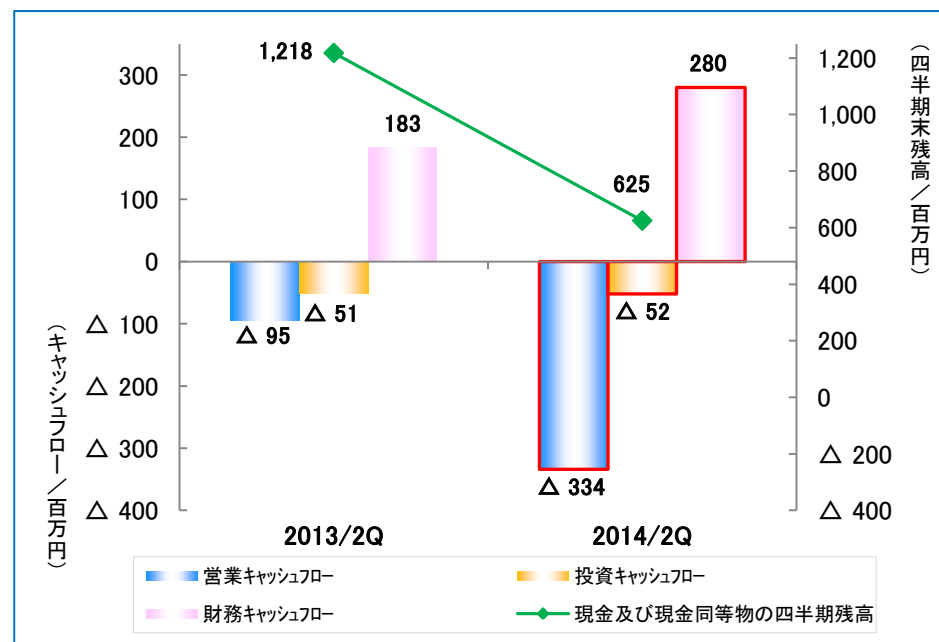
自己資本比率は23.6%となり、前期末に比べ1.0ポイントの減少。

3. 連結業績(キャッシュフロー)

営業活動により334百万円、投資活動で52百万円をそれぞれ支出し、財務活動で280百万円の資金を取得した結果、四半期末残高は625百万円と減少

(単位:百万円)

	2013/2Q (累計)	2014/2Q (累計)	増減額
営業 キャッシュフロー	△95	△334	△238
投資 キャッシュフロー	△51	△52	△1
財務 キャッシュフロー	183	280	96
現金及び現金同等物に 係る換算差額	8	3	△5
現金及び現金同等物の 増減額	44	△103	△148
現金及び現金同等物の 期首残高	1,173	728	△444
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,218	625	△593



- 営業キャッシュフローは、「たな卸資産」が389百万円増加したことが主要因となり、前年同期に比べ238百万円の減少。
- 投資キャッシュフローは、前年同期と同水準の投資活動となり、ほぼ横ばいでの進捗。
- 財務キャッシュフローは、「短期借入金」の増加と「長期借入れ」による収入が要因となり前年同期比96百万円の増加。

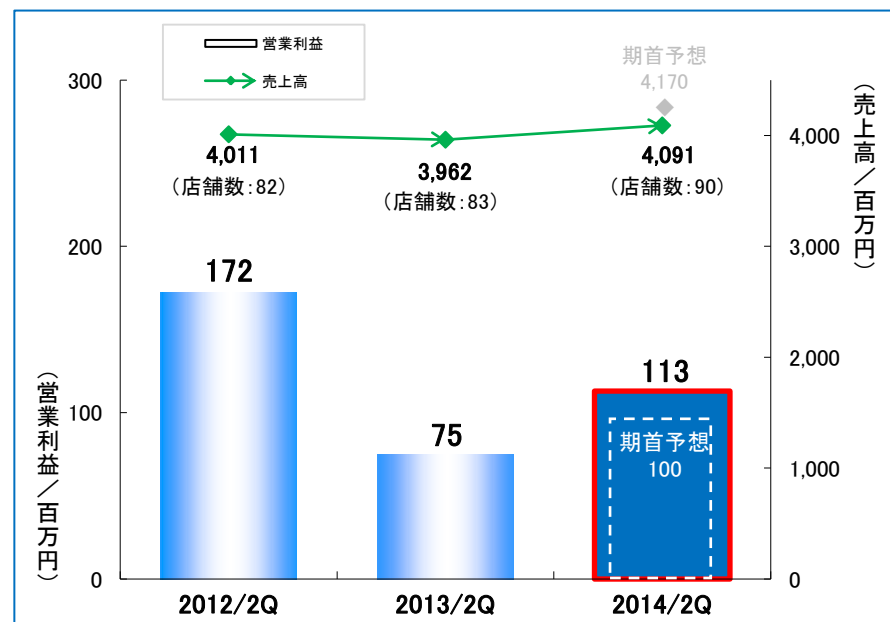
4. 連結業績の推移

前期大幅減益からの巻き返しに向けたグループ共通施策の推進により
グループ業績は回復基調で推移

＜経営成績(連結)＞

(単位:百万円)

	2012/2Q (累計)	2013/2Q (累計)	2014/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	4,011	3,962	4,091	3.3%
売上総利益	2,458	2,398	2,610	8.8%
販売費及び 一般管理費	2,286	2,322	2,496	7.5%
営業利益	172	75	113	50.5%
経常利益	148	67	97	44.5%
四半期 純利益	57	13	41	195.9%



- 売上は、期首予想を僅かに下回ったものの、グループ全体での利益改善策の推進により利益面は上振れ。
- 国内有力百貨店の増床に加え、ベトナム子会社の生産拠点整備や台湾子会社の軌道化が段階的に実現。

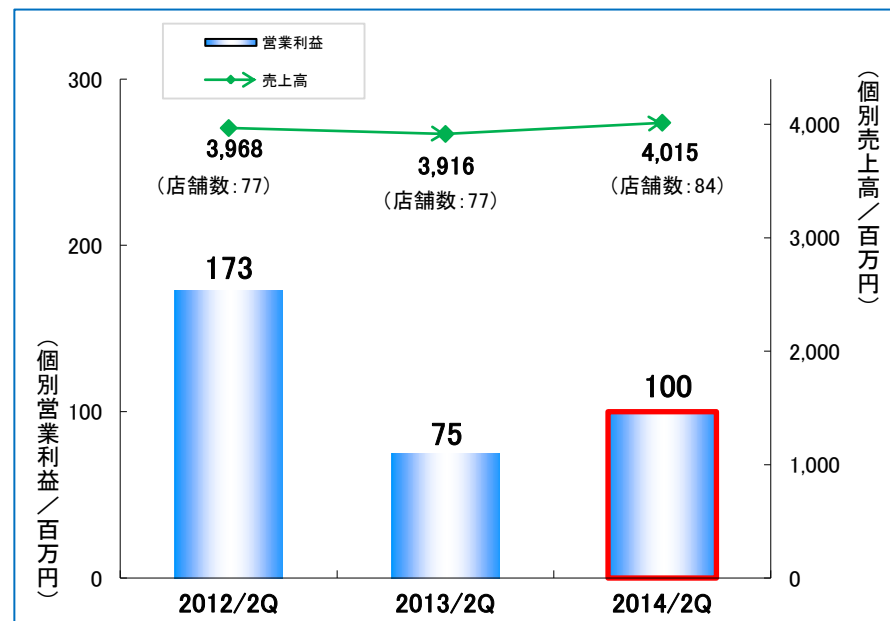
5. 個別業績の推移

成長戦略投資への傾斜配分に加え、足元の業績改善策にも注力した結果、
個別業績は前期の不振から改善傾向で推移

<経営成績(個別)>

(単位:百万円)

	2012/2Q (累計)	2013/2Q (累計)	2014/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	3,968	3,916	4,015	2.5%
売上総利益	2,416	2,341	2,519	7.6%
販売費及び 一般管理費	2,243	2,266	2,419	6.8%
営業利益	173	75	100	32.0%
経常利益	148	62	80	28.1%
四半期 純利益	66	9	23	145.1%



- 国内における百貨店売上は既存店2.5%増と堅調も、SC既存店は3.1%の減収となり、SC業態の低迷が深刻化。
- 高付加価値の“Wish upon a star”シリーズがブライダル需要を牽引するなど、業績の持ち直しに貢献。

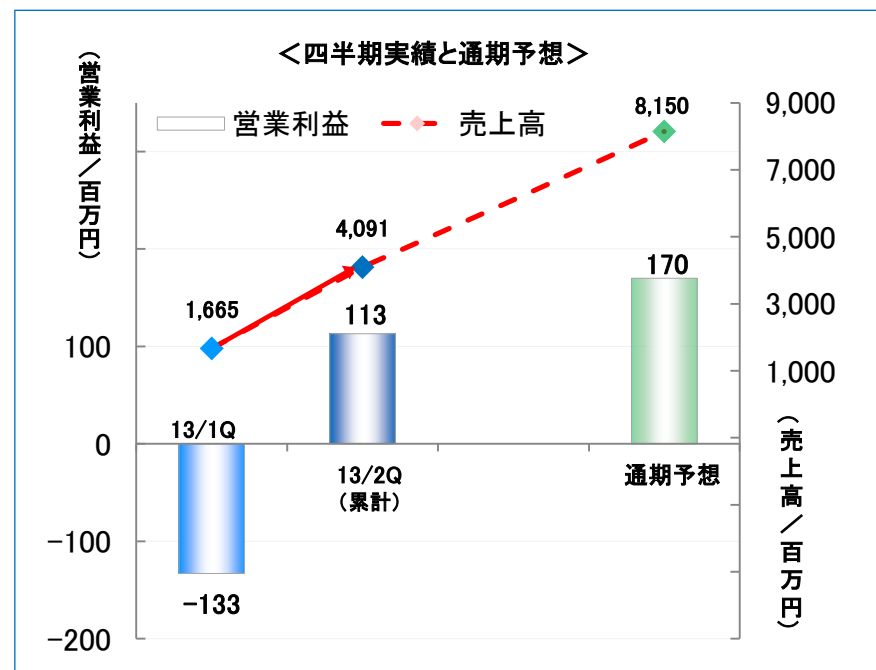
6. 通期の見通し

利益面は期首予想を上回るなど、業績が回復基調となる中、
下期の重点施策を着実に実践することで通期予想の達成を目指す

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	14/1Q (会計)	14/2Q (会計)	14/2Q (累計)	14/2Q (予想)	通期予想
売上高	1,665	2,426	4,091	4,170	8,150
売上総利益	1,034	1,576	2,610		
販売費及び 一般管理費	1,167	1,329	2,496		
営業利益	△133	246	113	100	170
経常利益	△139	236	97	85	140
純利益	△104	145	41	20	25



- 消費税増税による影響が懸念される中、新規店舗やSC・路面店の活性化を図ることで、収益の拡大を目指す。
- 受注生産商品の増加傾向に対応するため、さらなる商品供給サイクルの短縮化を推進し、競争優位性を確保する。